

# 産業保安に関する行動計画の取組み状況

高圧ガス小委員会 2021年3月9日

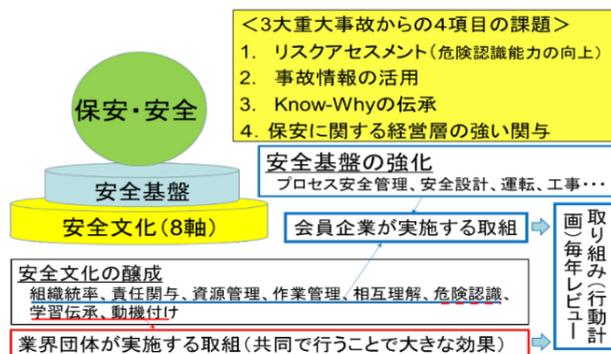
石油化学工業協会

石油化学工業協会では、2011年～12年にかけて会員企業が起こした3件の重大事故（塩ビモノマープラント、レゾルシンプラント、アクリル酸タンク爆発火災）を踏まえて、2013年7月に業界団体としての「産業保安に関する行動計画」を定め、毎年、前年度の状況実績について確認を行い、次年度の計画作成を行っている。

現在、2020年度の実績取りまとめ作業を行っている最中のため、本資料では、例年通り、暫定版として2020年度実績（見込）及び2021年度計画（基本方針案）を御報告する。

なお、実績最終版及び2021年度計画は、当協会年度末の5月末に協会HPにて公表予定。

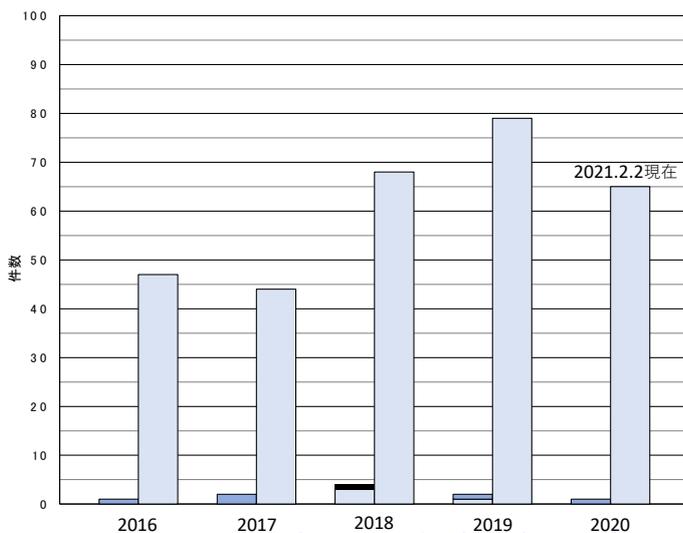
## 1. 当協会の産業保安に関する行動計画の基本的な考え方



## 2. 「2020年度 産業保安に関する行動計画」の実績（暫定）

### (1) 事故の発生状況

#### 1) 保安事故



2020年：・重大事故：1件(廃棄施設の溶断工事中の爆発 死亡事故)

・比較的軽微な事故（3ポイント以下）は漏洩（腐食管理不足等）が中心。

（参考：2019年：重大事故なし）

#### 当協会事故強度評価基準：

CCPS 評価法ベースによる

ポイント数範囲分類

（重大（保安）事故の定義：

死亡又は18ポイント以上）

## 2) 労働災害



労災件数推移(従業員)



労災件数推移(協力会社員)

### 2020年：①従業員

- ・重大事故(定義：死亡災害)なし
- ・休業4日等以上(25件)

### ②協力会社員

- ・重大事故1件(槽内酸欠による死亡災害)
- ・休業4日等以上(49件)

(参考：2019年：重大事故1件(荷揚げ作業中の重機巻き込まれ死亡災害))

会員各社、協力会社も含めた安全管理強化や人材育成支援等に工夫し取り組んでいる。

## (2) 会員企業が実施する取組のガイドライン

### 1) 経営者の産業保安に対するコミットメント

⇒定着化、継続中。後述の「保安トップ懇談会」でも各社最新状況の共有化。

### 2) 産業保安に関する目標設定：2020年度目標；重大事故ゼロ(保安事故+労働災害)

⇒結果：重大保安事故1件、重大労災1件発生のため未達。

### 3) 産業保安のための施策の実施計画の策定

### 4) 目標の達成状況や施策の実施状況についての調査及び評価

### 5) 自主保安活動の促進に向けた取り組み

3)、4)、5) は  
会員各社に実績を  
ヒアリング中  
(本資料提出時点)

## (3) 業界団体が実施する取組み

「経営層の保安に対する強い関与」及び安全文化を構成する8軸のうち、協会として取り組むことで広く情報が得られ、効果が期待できる「学習伝承」と「動機づけ」を中心に取り組んでいる。

【注：2020年3月6日付石油コンビナート等災害防止3省連絡会議の要請「石油コンビナート等石油化学関連事業所における災害の防止に向けた取組について」に対して一部前倒しで取進めている

⇒ 次ページ以降、該当事項は緑字【 】で示した】

## 1) 経営層の保安に対する強い関与

### 会員会社経営トップの保安に関する「安全メッセージビデオ」更新検討

- ・当協会として2015年に初めて制作したビデオの見直し検討をWGにて継続中。
- ・そのベースとなる会員各社のトップの方々による「保安トップ懇談会」を開始し、計3回実施(約半数の企業)。

各社トップによる最近の保安衛生に係わる課題と対策についての情報・意見交換。

⇒本懇談会開催継続予定

## 2) 安全文化の醸成

### ① 学習伝承：3つの共有化(事故情報、経験、保安への取組み)について活動

#### 「事故情報の共有化」【事故増加の原因の分析と事故低減のための対策検討】

保安事故：

- ・会員会社報告の全事故について1件毎に「事故評価WG」にてレビュー、他社に伝えたい教訓等を明確にした上で、発生状況、原因、教訓等について共有化。
- ・石油連盟との情報の相互共有化も継続中。

労働災害：

- ・比較的重篤度の高い休業4日等以上の労災について1件毎に「労働災害WG」にて発生状況等をレビューし、分かり易くする等の見直しを行ない共有化。
- ・重大労災については協会内委員会にて当事者会社から説明、情報を共有化。

#### 「経験の共有化」【人材確保】

「事故事例巡回セミナー」

- ・諸先輩が経験に基づく保安管理等の要点を語り現場管理者の気づきの場とする。
- ・開催計画策定済みであったが、新型コロナ禍のため中断(会議趣旨上集合対面式のため)。

#### 「保安の取組み共有化」【リスクアセスメントの充実と実施上課題への対策検討】【人材確保】

「保安推進会議」

- ・第38回：10月にWEB(オンライン)にて開催(新型コロナ禍のため)。

参加約420名(会員企業、関係省庁・機関、大学、マスコミ)

- ・会員会社5社による自社の保安向上への取組み(優良事例)に関する発表
- ・特別講演(外部講師)：

「生産的安全の時代：安定したオペレーションを続けるための安全マネジメント」

「保安研究会」(製造プロセスが類似するプラント毎の7つの研究会)

- ・全ての研究会をWEB(オンライン)にて開催(新型コロナ禍のため)。
- ・技術(Know-why)伝承、事故・トラブル・労災防止の情報交換並びに討論型演習。

「産業安全塾」(将来の安全を理解できる経営者・管理者や幅広い視野を持った安全専門家の育成)

3団体共催(石化協・日化協・石連)「東京産業安全塾」は新型コロナ禍を鑑み、

例年形態(集合対面式、講義&討議)開催は中止。代替としてWEBにて特別講義を実施

## ② 動機付け

優秀な安全成績保安功労者(14社14名)を選出。表彰式は来年度開催予定。

### (3) 自然災害による産業事故の発生防止に向けた取組み

#### 1) 地震・風水害等への対策に関する各社情報交換 【南海トラフ地震対策】【災害対応訓練】

- ・ 関連講演会の開催
- ・ 会員各社からなる保安衛生関連会議体での情報交換

#### 2) 関連会議体への参画と協会内情報意見交換

風水害対策ガイドライン検討会など

### (4) 産業保安に関するスマート化に向けた取組み【人材確保(AI/IoT 関連人材育成)】

1) (上述)「保安トップ懇談会」にて各社取り組み状況や方針の情報交換。

2) 「スマート保安官民協議会」決定方針への対応。

- ・ 「スマート保安シンポジウム」にて業界の取り組み状況報告（基調講演）
- ・ 「スマート保安促進のための保安規制見直し要望」提出 など。

3) IoT、AI 等先進技術活用に関する会員企業向け勉強会の開催継続中（WEB開催）

。

### (5) 学会との連携推進

- ・ 安全工学会等の学会に参加。又、学会実行の支援等実施。

## 3. 「2021年度 産業保安に関する行動目標」の基本方針（案）

産業保安に関する行動計画の基本的考え方及び2020年度の実績を踏まえ、特に以下の点に留意して2021年度の計画を立案する予定。

【注：2020年3月6日付石油コンビナート等災害防止3省連絡会議の要請

「石油コンビナート等石油化学関連事業所における災害の防止に向けた取組について」を考慮する。】

- (1) 経営層の保安に対する強い関与（継続）
- (2) 重大事故ゼロへの取り組み
  - ・ 重大事故の再発防止（3大事故の教訓の再確認等）
  - ・ 事故情報の共有化：重大事故ゼロの目標達成のために会員各社にとって教訓とすべき内容を加えた事故情報の共有化（保安事故、労災ともに会員企業の全事業所分）
  - ・ 事故事例研究の継続（確かな教訓までを導き出せる人材育成含む）
- (3) スマート保安・新たな技術への取り組み
- (4) 安全文化醸成の支援（学習伝承、動機付けを中心に。）
- (5) その他
  - ・ 人材育成支援（産業安全塾の充実継続など）
  - ・ 自然災害全般による産業事故の発生防止関連

以上